

地域名	地域概要	地活協の形成に向けた取組み	形成時期	地活協形成に向けた課題
市岡 (港区)	・古くから居住している世帯と、マンション等新しく居住する世帯が混在。 ・地域上げての避難所開設訓練や、地元商店街との協働イベント等を積極的に実施。	・3月、地域の課題や今後の取組みについて話し合うワークショップを開催。 ・ <u>地活協形成に向けた検討を進め、準備会を7月1日立ち上げ。</u> ・ <u>準備会として将来像策定に向けたワークショップ開催（8月23日）</u>	[準備会] ・ <u>23年7月1日地域合意</u> [地活協] ・時期未定	・ <u>より多くの新たな団体や地域住民が地活協へ参加できるような取組みが必要。</u>
大江 (天王寺区)	・神社仏閣、古い町並みが残るが、近年マンション建設により人口増加。 ・地域一体となり避難所開設運営訓練を実施、大江ふれあいまつりなどには、若手の参画も得ている。 ・要援護者支援の「ご近所助け合いネット」に、2町会（大岸・東門）がモデルとして取り組んだ。	・2月、連合定例役員会で各町会長に説明。 ・5月、準備会設立に向け地振、社協、女性会等各種団体との「協議の場」開始。 ・ <u>6月、次回（7月中旬）に準備会規約作成及び役員選出を行うことを確認。</u> ・ <u>7月、規約について確認。役員選出については再度調整を行うことを確認。</u> ・ <u>9月、役員体制、補助金申請内容について協議。</u>	[準備会] ・ <u>23年9月頃予定</u> [地活協] ・24年2月頃迄に予定	・ <u>地活協について、「協議の場」への参加者以外の住民の認知度・理解が乏しい。（アンケート等活用）</u>
五条 (天王寺区)	・閑静な住宅地、市営住宅の建替に伴い、新住民が転入予定。 ・地域の恒例行事が、児童生徒と地域の人たちとの世代間交流の場となっている。 ・また、和太鼓を通じた活動も盛ん。 ・地域一体となり避難所開設運営訓練も実施。	・2月、連合町会長会議で説明。 ・3月、女性会、青少年団体、民生委員等各種団体長に対して説明。 ・5月、準備会設立に向け地振・社協・女性会等各種団体との「協議の場」開始。 ・ <u>6月、準備会の規約について合意、役員を選出。準備会認定申請書を提出。</u> ・ <u>7月、取り組む課題の1例として、「防災」をテーマに意見交換。補助金申請内容について大筋で合意。</u> ・ <u>8月、「防災」をテーマに意見交換、補助金申請内容について確認。</u>	[準備会] ・ <u>23年7月13日</u> [地活協] ・24年2月頃迄に予定	・ <u>地活協について、「協議の場」への参加者以外の住民の認知度・理解が乏しい。（アンケート等活用）</u> ・協議会への参加団体を増やす。
聖和 (天王寺区)	・市営住宅の老朽化、賃貸マンションの増加。新旧住民が混在、子育て世代も増えている。 ・「聖和寄り合いまちづくり」は、地域の次世代を担う若手世代が集まり、ワークショップなど様々な活動を実施。 ・また、地域一体となり避難所開設運営訓練を実施	・3月、地振、社協、民生、女性会等地域の19団体の代表に説明。 ・6月、「協議の場」づくりについて、連合会長、地区社協会長と打合せ。 ・ <u>6月、町会長会議において準備会設立に向けた検討を再開することを確認。</u> ・8月、地振、社協、民生、女性会等主要9団体による準備会を開催、 <u>準備会規約について確認、役員を選出。</u> ・ <u>8月、役員会において補助金申請、今後の進め方等について協議。</u>	[準備会] ・ <u>23年8月17日</u> [地活協] ・ <u>24年2月頃迄に予定</u>	・ <u>地活協について、「協議の場」への参加者以外の住民の認知度・理解が乏しい。（アンケート等活用）</u>
今里 (東成区)	・老朽住宅密集地域。 ・地域防災の先進的な取組(夜間・宿泊訓練)を実施。 ・最近では、商店街の空店舗「パトリ」に高齢者の交流地点を設置。 ・ホームページ、ブログで情報発信など広く住民に地域活動情報を周知。	・1月、ワークショップ開催。 ・4月、「協議の場」立ち上げ。 <u>地域活動協議会準備会規約内容・運営体制について合意。</u> メンバーは、連合会長(地域社協会長)、福寿会長、子ども会長、町会長などの6名。 ・ <u>6月、7月、8月に準備会を開催し、まちづくり住民アンケート等について協議。</u> ・ <u>8月下旬より、アンケート配布等について、各町会長・班長説明会を計5回開催。</u>	[準備会] ・ <u>23年4月地域合意</u> [地活協] ・時期未定	・地活協について関係諸団体以外の住民には浸透していない。(アンケート等活用) ・地元商店街が参画できる仕組みづくり。 ・多様な課題をまとめていく仕組みづくり。(多様な団体の参画、専門部会の設置など)
深江 (東成区)	・一部老朽住宅密集地がある地域。 ・放置自転車対策「ノーチャリデー」や、歴史資源を活用したイベントに取り組む。 ・ホームページ、ブログで情報発信、地域新聞の発行など広く住民に地域活動情報を周知。	・1月、2月ワークショップ開催。 ・4月、「協議の場」立ち上げ。 <u>地域活動協議会準備会規約内容・運営体制について合意。</u> メンバーは、連合、地域社協から7名、その他防犯、青指、民生委員、ネットワーク委員会、小学校長の5名の計12名。 ・ <u>5月、6月、7月(2回)、8月に準備会を開催し、まちづくり住民アンケート等について協議。</u> ・ <u>8月下旬より、アンケート配布等について、各町会長・班長説明会を計5回開催。</u>	[準備会] ・ <u>23年4月地域合意</u> [地活協] ・時期未定	・地活協について関係諸団体以外の住民には浸透していない。(アンケート等活用) ・まちおこしのな事業を進めるための財源確保の仕組みづくり。(企業等の参画) ・地域特性を反映させて、課題をまとめていく仕組みづくり。(地域事情が異なる)
榎本 (鶴見区)	・人口が区全体の約15%を占める。 ・自由度の高い「あいより」から実現した取組も多い。 ・100年後を見据えたまちづくりをめざす。	・1月、榎本社協まつりの開催に向け、「あいより」メンバーを中心に社協17団体、町会などで「協議の場」設置。 ・ <u>6月、地域活動協議会準備会規約内容・運営体制について合意。</u>	[準備会] ・ <u>23年6月28日地域合意</u> [地活協] ・23年11～12月頃予定	